

(様式)

地球惑星科学委員会国際連携分科会 IASC 小委員会の設置について

分科会等名：地球惑星科学委員会国際連携分科会 IASC 小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	地球惑星科学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員，連携会員又は会員若しくは連携会員以外の者
3	設置目的	<p>1991年、オスロで開かれた第1回 IASC(国際北極科学委員会) 評議会において、非北極国の加盟審査が行われ、我が国を含む申請6ヶ国が認められた。現在は22ヶ国が同委員会に加盟している。地球温暖化は氷床や海氷、永久凍土の融解などを通して北極圏の環境を変化させ、その影響は中緯度にも及び、我が国の北極への関心は高まっている。北極における自然科学の研究活動のみならず、北極海航路や北極に住む人々への関心を含む社会科学研究を推進することは、学術・社会に貢献する良い機会である。</p> <p>我が国が IASC (国際北極科学委員会) に参加して、活動するにあたり、対外的な窓口をつとめるとともに、北極研究の奨励と推進に関して、北極環境研究コンソーシアム等の国内の研究者・機関との連携、連絡調整を行うことを IASC 小委員会の設置目的とする。</p>
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none">1. 国際的な連携および北極研究計画案等を協議し、IASC 等関係会議に提案する事項2. 北極における観測拠点等の国際協力に関する事項3. IASC 等関連会議の国内対応組織として、同小委員会と国内の研究者の連絡調整に関する事項4. 北極に関する教育関係者、普及活動、アウトリーチに関する事項5. 北極に関する技術的、設営的諸問題に関する事項6. その他、IASC に関する事項
5	設置期間	時限設置 平成26年10月1日～ 29年9月30日 ○常設

6	備考	20 期以降常設されてきたが、社会科学分野への関心の高まりなど、対応事案の多様化にともない、構成員数を改訂する。
---	----	--